

## Hondaの概要

### 事業領域

#### 主要事業

##### 二輪事業

Hondaの二輪事業は、1949年に量産を開始して以来、多くの地域でモータリゼーションの先駆けとなりました。世界の人々から愛されるコミューターモデルから、操る喜びをダイナミックに味わえるスポーツモデルまで、幅広い二輪車のラインナップを揃えています。

2019年4月からは、S(営業)・E(生産)・D(開発)・B(購買)の協調と連携強化のために、二輪事業本部と二輪R&Dセンターを組織として一体化させました。新商品の企画構想・開発・生産立ち上げ・量産を一貫して行うことで、商品魅力のみならず、コスト・品質・開発スピードを高め、グローバルでの競争力を確保していきます。



Super Cub C125



CB1000R

##### 四輪事業

Hondaは「自由で楽しい移動の喜び」を提供するために、パーソナルで個性的な四輪車を製品化しています。1963年に「T360」で始まった四輪車の生産は、2016年、世界生産台数累計1億台を達成しました。

現在では、日本で展開している軽自動車の「N-BOX」から、グローバルモデルの「アコード」や「CR-V」、北米のピックアップトラック「リッジライン」、そしてスーパースポーツの「NSX」まで、さまざまな四輪車を提供しています。

また、製品CO<sub>2</sub>排出量原単位を2020年までに30%低減(2000年比)するという目標や、2030年までに四輪車グローバル販売台数の3分の2を電動化する目標を掲げています。



CR-V



中国専用EV 理念VE-1

## Hondaの概要

### 事業領域

#### ライフクリエーション事業

Hondaはパワープロダクツ事業として汎用エンジンをはじめ、耕うん機、発電機、除雪機、芝刈機、ポンプや船外機など、多彩な商品を提供してきました。また、暮らしのさまざまな場面で役立つ電動化製品の開発・商品化も進め、ロボット芝刈機「Miimo（ミーモ）」、ハンディタイプ蓄電機「LiB-AID（リベイド）E500」などの新しい価値を提供する商品も提案し続けています。

2019年4月からは、エネルギーなど「将来に向けた新事業」を加え、新たに「ライフクリエーション事業」へと領域を広げます。これにより、従来の「パワープロダクツ商品を提供する」機能から、「移動と暮らしに新価値を提供する」という機能に進化させていきます。



ロボット芝刈機 Miimo（ミーモ）



ハンディタイプ蓄電機 LiB-AID（リベイド）E500

#### 航空機および航空機エンジン

Hondaは、パーソナルな移動の新たな提案として2015年末、「HondaJet」を世に送り出しました。HondaJetは、主翼上面のエンジン配置などのHonda独自技術により、上質な空の移動体験を提供しています。2018年5月には、最新型としてアップグレードされた「HondaJet Elite（エリート）」、従来モデルの性能を向上させる「HondaJet APMG※パフォーマンスパッケージ」を発表。デリバリー開始からこれまでに、100機を超える機体をお客様に届けてきました。また、日本を含めこれまでに9カ国において型式証明を取得しており、現在、北米・欧州・中南米・東南アジア・中国・中東・インド・日本で販売しています。

一方Hondaは、ゼネラル・エレクトリック社（GE）と共同で、航空機ターボファンエンジン「HF120」を開発しました。HF120は、ホンダ エアロ インクにて生産され、GEと50：50の合弁で設立したGE Honda エアロ エンジンスを通じて販売が進められています。軽量・コンパクト・高効率・高推力なこのジェットエンジンは、その性能優位性を訴求して、HondaJetを皮切りにほかの航空機メーカーへ販売を広げていきます。

※ APMG：Advanced Performance Modification Groupの略称。HACI内で編成したグループで、主に既存機の性能のアップグレードなど、先進技術による性能の改善や最新機能の開発を専門に行います。



左から HondaJet Elite、HondaJet、HondaJet APMG パフォーマンスパッケージ



ターボファンエンジン HF120